

9月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知・静岡・外国。 彼岸向けの生育は、高温の影響を受け開花遅延が予想される。販売のピークとしては15日の見込み。
	黄・赤菊	静岡・愛知・外国等。 施設栽培の精の光彩は高温の影響を受けやすく、遅れや葉の障害が懸念される。高冷地は山形、長野等が主体。
小菊		福島中心。生育過程で高温の影響を受けている作型となる為、今後の天候次第ではあるが、現状生育遅れが懸念される。販売日のピークは15日、17日に集中し、19日以降もダラダラと出荷が続く予想。
SP・ディスバッド		・SP: 愛知・静岡・栃木・宮城・青森中心。今後の気温によって生育は左右されるが、全体的に遅れが生じる可能性あり。中旬以降増加する見込み。 ・ディスバッド: 重陽の節句に合わせて青森は増加してくる予定だが、天候に左右される。
バラ		山形・愛知・静岡中心。各産地引き続き短めが多い出荷が続く。
カーネーション		北海道・長野県中心。国産は高温の影響で数量はあまり増えず、ダラダラとした出荷が続く見込み。
ガーベラ		静岡中心。高温の影響で昨年より新株の生育が悪く、大幅には増えてこない見込み。
かすみ草		福島中心。出荷量は安定する見通し。
リシアンサス		前進傾向の為前半に集中した出荷となり、お彼岸は少なくなる見込み。
ユリ	オリエンタル	新潟の山手産地と北海道・埼玉中心で、高知など西南暖地のお彼岸向け出荷もあり。現状の高温干ばつの影響で生育・品質不良を起こす可能性が高く、また、草丈の短いものも多くなる見込み。白: 色は6:4で、カサブランカは少な目、八重咲きがやや多めとなる。
	スカシ・鉄砲	・スカシLA: 新潟・埼玉中心で、数量は例年並みとなる見込み。 ・テッポウユリ: 福島・長野の新鉄砲ユリがメインの出荷で、数量は少な目となる見込み。
洋ラン類		・オンシジューム: 下旬より輸入、国産増える見込み。 ・カトレア: 各産地生育がずれている為、少ない出荷が続く見込み。 ・シンビジューム: 輸入中心で出荷は不安定。 ・デンファレ: 輸入、国産共に潤沢な出荷。 ・ファレノ: 台湾、中国中心。出荷は潤沢。
季節もの		・りんどう: 岩手・秋田・山形中心。高温続きで品質面で花焼け、高温障害等により影響を受ける。大きい山はなくダラダラした出荷となりそう。 ・グラジオラス: 長野/茨城中心。8月中旬から高温の影響により激減。天候次第だが9月上旬から徐々に増える見込み。 ・ピリンズ: 作付け生産者が減、8月下旬に雨が振れば生育良好になる。 ・ススキ: 中旬にピークになりそう。 ・ドライパンパス: 静岡個選の方に生産依頼済。